

日本福祉大学

山形最上オフィス通信

発行：東北地域ブロックセンター

第6号



山形最上オフィスのアクセス

〒999-6101
 山形県最上郡最上町大字向町674番地
 最上町立中央公民館内
 TEL 0233-43-9232
 FAX 0233-43-2350
 (火～土 10:00～18:00)
 ※ブロックセンターブログもご覧ください
 ブログURL <http://blog.n-fukushi.ac.jp/bc-yamagata/>
 (PC・携帯共通)



(ブログ携帯用QRコード)



2010年度を振り返って

全国的に大雪に見舞われた今冬の空模様も、ようやく落ち着いてきました。ついこの間新年を迎えたばかりだと思っていたら、気付けばもう3月に突入し、年度末となりました。年度末ということで、少し振り返ってみたいと思います。思い起こせば、今年度は様々な面で新たな取り組みを行った年でした。



まず、「ふくし」のこと、本学のことをもっと多くの方に知ってもらおうと、東北地方各県でAOガイダンスや進学相談会を開催しました。多くの高校生や保護者に足を運んでいただきました。



次に学費面では、経済が冷え込んでいる現代に対応し、これまでもあった奨学金制度に加えて、高い学習意欲や目標がある学生たちの大学進学を支援するべく、入学前に決定する「経済援助学費減免奨学生制度」も導入しました。

そして、入試制度。一般入試(前期日程)は、全国27箇所を受験会場を増やし、東北地方は今年度、青森市・仙台市・山形市に会場を設け、最寄りの会場で交通費を抑え、ゆとりを持って受験できるようになりました。

一般入試と同時期に行われたセンター試験利用入試では「全学部出願型」をスタート。通常、全学部・学科に出願した場合、11万5千円の検定料がかかりますが、この入試を利用することにより、全学部・学科に1万5千円で出願ができるようになりました。さらに、スポーツだけでなく文化部での実績を評価する「文化・芸術系部活動など推薦入試」や、「高等学校卒業程度認定試験合格者入試」も今年度より新設されました。



9月のAO入試から始まった数々の入学試験も、早いもので残すは今月中旬にある一般入試とセンター試験利用入試後期日程の結果発表のみとなりました。1月末に行われた、社会福祉士・精神保健福祉士等の国家試験も、同じく今月中旬に結果発表です。本学でも毎年多くの4年生

が受験し、全国平均を大幅に上回る合格率を社会福祉士国家試験が開始されて以来、22年連続現役合格者数第1位という記録を更新できるように、また、受験生の努力が実り、4月から新たな第一歩を歩めるようにブロックセンター職員一同祈っております。みなさんにサクラが咲きますように。



学生奮闘記

今回、北村山高校出身で、社会福祉学部保健福祉学科1年生の大場霞さんにお話を伺いました。

Q) 日本福祉大学に入ったキッカケは何ですか？

社会福祉学部が日本で最初に出来たととても長い歴史を持っていることと、私の生まれ育った最上町と「友好協力宣言」を結んでいて、関係深い大学だからです。



Q) 大学生活はいかがですか？

大学生活はとても充実したものになっています。

Q) 現在どんな勉強をしていますか？

保健福祉学科では、現在、高齢者福祉や児童福祉などについて広く学んでいます。

Q) サークルやアルバイトはどんなことをしていますか？

近くのカラオケ店でアルバイトをしています。

Q) 一人暮らしをしてみて大変なことはありますか？

一人で住むことに対して、寂しさを感じたり、家事・食事などが大変です。



Q) 将来の目標は何ですか？また、それに向けてどんなことを頑張りたいですか？

まだはっきりしたものは決まっていませんが、自分のやりたいことを精一杯やれる仕事に就きたいです。

Q) 最後に、高校生の方へメッセージをお願いします。高校生のみなさん、自分のやりたいことをやって、「今」を充実させてください。

ありがとうございました。入学して1年あっという間に過ぎましたが、大分大学生活に慣れ、毎日が充実しているようであり、体調管理に気をつけて、2年生になっても頑張ってください。帰郷した際はぜひブロックセンターに寄って、色々お話を聞かせてくださいね。

新たな年を迎えて間もないですが、東北地域の同窓会は活発に始動しています。1月9日(日)に岩手県地域同窓会総会、2月4日(金)に宮城県新春懇親会、2月19日(土)には福島県地域同窓会総会が開催されました。今回は、岩手県支部会長に地域同窓会総会のお話を伺ったのでご紹介します。

岩手山をバックに…日福大生に戻る



全国的な寒さ、豪雪が伝えられる中、岩手県盛岡市・盛岡駅西口「いわて県民情報交流センター(通称:アイーナ)」で定期総会を開催。参加者は、支部会員7名(他に委任状参加会員33名)及び同窓会本部(水野常務、佐俣東北ブロック担当理事)と少な

かったものの、本学卒業生だけに、寒さを吹き飛ばすような熱き話合いです。会場から「岩手山」がバックに眺められること、さらに、前日、本部との懇親(岩手の地酒・焼酎を堪能!)を開いたことが、舌を滑らかにしたのかもしれませんが…?

実年齢から離れ、「久々に日本福祉大学生に戻った」と喜びを感じつつ、今年度の県支部の活動方針・予算を決定。さらに、来年度・本県開催の「日本福祉大学社会福祉セミナーいわて(仮称)」の開催に向け、全員で取り組もうと意思統一しました!!



東北各県支部の皆さん、来年2月26日(日)に開催予定のセミナーにぜひともお出で下さい。(文責:会長・鹿野)

卒業生の声



岩手県に暮らし、はや30数年…

東北各県の皆さん、お元気でしょうか! 岩手県支部会長の鹿野(かの)と申します。生まれは、宮城県栗原市(数年前の「岩手県南部・宮城県北部地震」で被災を受けたことで知られていますが…)。

高校生時に「福祉への想い」を抱き、日本福祉大学へ進学。噂どおり、大学の講義もすばらしいことでしたが、熱き想いの仲間達(サークル、ゼミ、自治体活動等)との間で切磋琢磨されたことが、卒業後、岩手県職員となり、福祉現場で仕事を行う際の「熱き心で!!」との気持ちの源になったのだろうと痛感しています。

岩手県で暮らしてはや30数年となり、既に、宮城県での18年間、名古屋市での4年間の時間を超えている今でも、大学生活での出来事が思い起こされることがあります。

「さあ、明日も、がんばろうまい!!(名古屋弁?)」

(日本福祉大学同窓会 岩手県支部会長 鹿野俊彦さん)



通信教育部



オフィス通信第5号でもご案内しました、通信教育部入学説明会を2月5日、仙台市情報産業プラザ(AER5F)にて開催しました。通信教育のある大学・大学院・短大44校が合同で開く説明会で、278名が来場され会

場は大いに賑わいました。本学のブースにも多くの方にご参加いただき、様々な質問や相談を承りました。本学への出願を検討していただければ幸いです。

2011年度通信教育部入学者はまだまだ募集中です。ご不明な点等ございましたら、通信教育部事務室またはブロックセンターまでご連絡ください。

- 正科生・科目等履修生・特修生
- 【第3期】 3月1日～3月31日
- 科目等履修生・特修生
- 【第4期】 4月1日～8月31日



スポーツや文化などの課外活動において素晴らしい成果をあげた団体・個人を表彰する「今年度活躍した学生を励ます集い」が毎年本学で開催されています。2010年度「課外活動奨励賞」表彰された団体のひとつに、「まちづくり応援隊」が選ばれました。まちづくり応援隊は社会福祉学部の野口定久教授を筆頭に、教授5名と院生を含む学生14名というメンバーで構成された団体で、10月2日～5日まで山形県最上町で第2期福祉計画策定のため、聞き取り及び健康福祉町民会議へ参加しました。そこで住民意識調査の結果を集約・分析し、課題解決に向けた政策・実践の提案や町民が中心になって取り組むための町民会議の立ち上げを行いました。町民会議では5つに分かれた部会の指導者となり学生が進行を進め、今後の地域風刺計画策定のため資料をデータとして残し、最上町の地域福祉活動に貢献しました。最上町だけでなく、他に三重県桑名市のまちづくりにも協力しているそうです。まちづくり応援隊の方々おめでとうございます!

編集日誌

これが2010年度最後のオフィス通信となります。Twitterのような、このつぶやきまで読んでいただきありがとうございます。2011年度もオフィス通信を発行していきますので引き続きよろしく願いいたします。ブログも見て下さいね。(中嶋)